データで読み解く中国特許の実態：出願規模と国際的「質」の評価

中国特許の「国内偏重」という特徴と、膨大な国際出願数および特定先端分野における高い技術的影響力（質）を可視化し、適切な知財リスク評価・競合分析を支援する。

出願規模と海外権利化の実態





主要国での権利化が
着実に進行中

主要4分野における「質」と影響力

AI・半導体分野の被引用影響力（HCP指標）は
世界水準（1.0）を超過

半導体
(Semiconductor)
HCP 1.48
日本0.92を超過、
EPO受理416件
着実な質的蓄積

AI
(Artificial Intelligence)
HCP 1.36
米国1.73，日本1.44.
量は中国、上位層は
無視できない



強力な国際ポートフォリオ

通信 (Communication)
5Gの有効登録ファミリー数・
技術寄書数でHuaweiが1位

バッテリー (Battery)
ナトリウムイオンで強み、
正極材料の海外シェア急増

分野一括の評価は不適切。
材料と製造工程を分けて監視

Gemini Notebook